



2026年4月28日

各位

会社名 株式会社秀英予備校
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 武
 (コード: 4678 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役経理部長 紅林 信宏
 (TEL. 054-252-1792)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月28日開催の取締役会におきまして、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）におきまして、特別損失（校舎移転・閉鎖損失引当金繰入額）を170百万円計上いたします。主な内容は以下のとおりです。

当社では、成長戦略の一環として、校舎の適正配置を図るため、スクラップ&ビルドを推進しております。この方針に基づき、山梨県及び宮城県の拠点校について移転の意思決定を行い、現校舎における退去から契約満了までの非営業期間（いずれの校舎も退去から2027年5月までの期間）の賃借料等が発生することとなり、「校舎移転・閉鎖損失引当金繰入額」170百万円を特別損失として計上いたします。

山梨県及び宮城県の拠点2校舎はいずれも2027年5月に賃貸借契約が満了を迎えるため、賃借料負担を軽減しながら、現在の生徒が継続して通塾可能な移転先を近隣にて模索しておりました。この度、現校舎近辺にて好立地な物件が見つかったことにより移転の意思決定をいたしました。

また、移転先における詳細な契約条件は、現在調整中ではありますが、今回の移転により大幅な賃借料等の削減が可能となり、2027年3月期以降、利益貢献できる予定であります。

2. 業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,880	412	417	200	29.80
今回修正予想 (B)	10,715	453	461	43	6.45
増減額 (B - A)	△164	41	44	△156	
増減率 (%)	△1.5	10.1	10.6	△78.3	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	10,693	386	397	298	44.42

(2) 修正の理由

当社グループとしては、2023年から開催した「全国公開実力テスト」等を通して将来の安定的な収益を確保すべき小学生低学年の“囲い込み”に注力してまいりました。2026年3月期におきましても同様の活動を継続した結果、小学生の生徒数は計画どおり推移いたしました。しかしながら、第3四半期以降の中学生、高校生の生徒数が計画と乖離したことにより、売上高につきましては前年を上回るものの業績予想に対しては未達となりました。

営業費用におきましては、業務の効率化による労務費の削減、節電による水道光熱費の削減、教材費の削減に取り組み、一定の成果を上げることができました。結果として、営業利益、経常利益については業績予想を達成いたしました。

特別損失におきましては、『1. 特別損失の計上について』にて記載のとおり、校舎の適正配置を図るため、山梨県・宮城県の2校舎の校舎移転の意思決定を行ったことにより多額の特別損失を計上するところであります。

この結果、2026年3月期通期連結業績予想は、前回発表予想と比較して、売上高は164百万円の減少、営業利益は41百万円、経常利益は44百万円の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は156百万円の減少となりました。

(3) 配当予想

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としております。親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みではありますが、成長戦略が概ね順調に推移していることを踏まえ、2026年3月期の年間配当予想につきましては、2025年8月18日に公表した1株当たり10円から変更ありません。

(業績予想に関する注意事項)

上記の予想は、本資料の発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上